バレーボールの基本的指導過程作成（2021\_0517\_飛騨市）

|  |  |
| --- | --- |
| 運動習熟の過程 | それらしくできる　　　　　　　　　 　　　　　できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　うまくできる |
| 対象の学年 | １年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３年 |
| 意識の広がり | ボールの動き　　場所　　　　　　　　　　　　　味方の動き　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相手の動き |
| ゲームの様相 | 相手がコートの空いたスペースを狙って返す　　相手コートの空いたスペースを狙ったり強く打ち込んだりするみんなでパスをつないで返すとにかく相手コートに返す　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ねらい | パスを３回つないで、相手コートの空いたスペースを狙ったり、強く打ったりして攻めることができるパスを３回つないで、相手コートの空いたスペースを狙って攻めることができる。仲間とパスをつないで、相手コートにボールを返すことができる。 |
| 練習方法 | 対人パス（１対１、ネット越し）　　　　　　　対人パス（１対１、ネット越し）　　　　　　　　　　スパイク練習（投げ上げ、トス）円陣パス　　　　　　　　　　　　　　　　　　円陣パス、３対３　　　　　　　　　　　　　　　　　３対３ |
| ルール | ４回以上つないでもよい　　　　　　　　　　　　　３回以内で返球　　　　　　　　　　　　　　　　３回以内で返球縦６ｍ×横９ｍのコート　　　　　　　　　　　　　縦９ｍ×横９ｍ　　　　　　　　　　　　　　　　縦９ｍ×横９ｍ |
| 知識、技能 | 戦術 | 　　　　　　　　相手コートの後方やネット際などの空きやすいスペースを狙う後衛に来たら、前衛につないでから返すセッターにつないで３本目で強く打ち込む持ち場を決めて分担して守る |
| ボール操作 | On theball  | オーバーハンドパス（三角形、おでこの上）　　　　相手コート後方まで返す　　　　　　　　　　　スパイクアンダーハンドパス（膝を使う）　　　　　　　　　ネット際のボール操作　　　　　　　　　　　　ブロックパスする相手にへそを向ける　　　　　　　　　　　セッターにつなぐ |
| ボールをつなぐ動き | OffTheball | ボールにへそを向ける　　　　　　　　　　相手が返して来る場所を予想　　　　　　　　　セッターにボールが上がったら助走の準備動ける姿勢で構える　　　　　　　　　スペースを埋めるためのポジション確認　　　　　　相手がスパイクを打ちそうならブロック準備定位置に戻る　 |
| 思考力、判断力、表現力等 | 攻防などの課題の発見 | On theball  | １人で返すかつなぐか判断　　　　　　　相手コートのどこに返すとよいか判断　　　　　　　　　スパイクかスペースを狙うかの判断　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相手コートを見る |
| OffTheball | ボールを操作する見方に寄る　　　　セッターに上がりそうなら、返す準備をする　　　　　　　相手がどう返してくるか予想するラリーの中で、味方の動きに合わせてスペースを埋める |
| 自己の考えたことを他者に伝える | 「どんな時に、どこに動いて、何をするか」という視点で個人課題を立てる作戦板のマグネットを操作する作戦に沿った個人課題を立てる　個人課題を判断して立てる　役割に応じた個人課題を立てる　個人課題を修正したり認め合ったりする（「思考の流れ」を基に）（「様相の高まり表」を基に）できない・分からないことを聞く　 |
| 学びに向かう力，人間性等 | １人１人の違いに応じたプレイを認めようとする | 認め、励ましの声をかける個人課題を共有する　　　　　個人課題の達成を認め合う成果を要求したり応えたりする |
| 仲間の学習を援助しようとする | うまくできない仲間に困っていることを尋ねる　　　　　　　　　　　　　うまくできない仲間の気持ちに寄り添った関わりうまくできない仲間の課題に対し、グループ全員で解決に向かう |